Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成23年9月29日 九州地方整備局 菊池川河川事務所

記

「菊池川水系河川整備計画 -国管理区間- 」を策定しました

基本理念 ~菊池川のやすらぎと清流を未来へ~

国土交通省九州地方整備局は、今後、概ね30年間の菊池川の具体的な河川整備等 の内容を記載した「菊池川水系河川整備計画」を平成23年9月29日に策定しまし た。策定にあたっては、本年3月より地域住民、学識経験を有する方々、熊本県知事及び流域内の自治体・関係機関等、様々な方々の意見聴取や、協議を経て参りました。 今後、菊池川の川づくりにおいては、より一層地域住民や関係機関等と連携・協働を図りながら、魅力溢れる菊池川を目指して、整備計画の4本の大きな柱(治水、利水、環境、歴史・文化)に沿った川づくりを推進していきます。

記

1. 菊池川水系河川整備計画の概要

記者発表資料 別紙 のとおり

2. 策定までの経過

河川整備計画(原案) 公表 平成23年 3月14日 河川整備計画 (案) 平成23年 6月21日 公表 平成23年 9月29日 河川整備計画 公表

3. 閲覧できる場所

- ◇国土交通省菊池川河川事務所 ロビー 〒 861-0501 山鹿市山鹿 178
- ◇国土交通省菊池川河川事務所 玉名出張所 〒 865-0021 玉名市津留字大川端 607-3
- ◇国土交通省菊池川河川事務所 山鹿出張所 山鹿市志々岐 10-2 ₹ 861-0542
- ◇国土交通省菊池川河川事務所 竜門ダム管理支所 〒 861-1672 菊池市龍門 870
- ◇今後、玉名市役所、和水町役場、山鹿市役所、菊池市役所、 熊本市役所植木総合支所でも閲覧予定

4. その他

「菊池川水系河川整備計画」については、平成23年9月29日より菊池川河 川事務所ホームページへ掲載します。 菊池川河川事務所ホームページ (http://www.qsr.mlit.go.jp/kikuti/)

【問い合わせ先】国土交通省菊池川河川事務所 TEL: (0968) 44-2171

技術副所長 裕 (内線204) 檜垣 調查 · 品質確保課長 大林 和幸(内線351)

菊池川水系河川整備計画の概要

河川整備計画の対象区間: 菊池川水系の国管理区間 河川整備計画の対象期間: 概ね30年

河川整備計画の基本理念

~ 菊池川のやすらぎと清流を未来へ~



菊池川の川づくりにあたっては地域の人々、関係機関・自治体との連携のもと、より安全で安心な暮らしを確保するとともに、川を必要とする生きものの棲みかになるような整備を進めていきます。そのような菊池川に慣れ親しみ、ふれあうことによって地域の歴史や文化が育まれ、魅力溢れる菊池川となることを目指して、4本の大きな柱(治水、利水、環境、歴史・文化)に沿った計画を策定し、この目標を達成するために、広報啓発の充実を図り、地域連携のもと、河川管理の協働を進めます。

治水 洪水から流域を守る川づくりと地域の防災力向上を目指します。

- ◆ 菊池川流域では、過去より、洪水被害が頻発している中、現在でも洪水に対して十分な安全度が確保されていません。そこで、河川整備計画で定めた洪水対策等を行うことで昭和57年7月洪水等と同規模の洪水を菊池川本支川からはん濫させることなく、概ね安全に流下させることができるようになります。
- ◆ 洪水時の被害を最小限に抑えるため、迅速かつ的確な防災情報の提供等を行うとともに、災害に強い地域を目指し、自助・共助・公助体制の構築等の危機管理体制の充実を目指します。
- ◆ 堤防や水門等の施設の機能及び河道の治水機能を維持するため、的確な管理を行います。

利水 限りある川の恵みを大切にしていきます。

◆ 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に努めていきます。

環境 菊池川らしい河川環境と良好な河川景観、水辺空間を保全・創出し、次世代へ引き継ぎます。

- ◆ 菊池川の多様な動植物が生息・生育・繁殖する河川環境と良好な河川景観等を保全します。
- ◆ 地域住民の憩いの場となる水辺空間等を地域住民や関係機関と連携しながら創出していきます。
- ◆ 水質の保全と向上を地域住民や関係機関と連携しながら進めていきます。
- ◆ 菊池川を次世代に引き継いでいくために、学校関係者、自治体、住民団体と連携しながら、河川環境教育等を行います。

歴史・文化 古くから流域住民の生活に密接していた菊池川流域の歴史・文化を継承していきます。

- ◆ 菊池川流域で加藤清正の「石はね」、「ハゼ並木」といった現在も受け継がれている歴史、文 化を保全し、次世代に継承します。
- ◆ 既存の観光資源と連携しながら、新たな歴史、文化、観光が創出される川づくりを目指します。